

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 月 2校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 III Comprehensive English III		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Kb	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者)/Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 <p>授業のねらい: 世界中から発信された、環境や平和や音楽等に関する興味深い内容の英文を通して、専門である環境科学に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。さらに、翻訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。</p> <p>授業方法: CD を用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。</p> <p>授業到達目標: 健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <p>授業内容(概要) CD を聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再び CD を聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキニングにより、内容の把握と理解をする。翻訳ワンポイントレッスンでは、訳の方法と文法事項の復習を行う。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>第1回 テキストとフレーズ・リーディングの説明 Unit 1 Mt. Everest Trash Turned Into Other Men's Treasure 第2回 Unit 2 Palestinian Ensemble Gives Cultural Lesson to Americans 第3回 Unit 3 Zambian Children Get Their Education Over the Radio 第4回 Unit 4 Plan Calls for Brazilian Schoolkids to Drink Coffee 第5回 Unit 5 U. N. Member States Urged to Observe Olympic Truce 第6回 Unit 6 Jewish, Muslim Students Live Together to Promote Peace 第7回 Unit 7 Bosnian Soccer Club Shows Unity Can Work 第8回 Unit 8 Aceh Students Join Tsunami Recovery Efforts 第9回 Unit 9 Palestinian Rappers Fight Occupation With Music, Not Bombs 第10回 Unit 10 Beijing Suggests Rooftop Lawns for Cleaner Air 第11回 Unit 11 Start of School Year Signals Progress for Afghanistan 第12回 Unit 12 Tiny Chilean Clarinet Maker Crafts World's Best 第13回 Unit 13 U. N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 第14回 Unit 14 Environmentalists Offer Tips for Happy Green Holiday 第15回 授業のまとめと定期試験</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。 毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p>			
キーワード	環境・平和・フレーズ・リーディング・リピーティング・音読		
教科書・教材・参考書	Messages to Our Future 『未来へのメッセージを読む』 (小笠原真司 William Collins 著 : 金星堂) (CD 付き) 英和辞書を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。 授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。 環境への関心を益々高める。		
備考(準備学習等)	授業には必ず予習をして臨んで下さい。 英単語の意味を予め調べておき、文章の大意を掴んでおきます。		